

大学で受講の
高校生が発表
名古屋



方が違つことを実験。
緩衝材を巻いた箱と巻
かない箱を持ち上げて
重さの感じ方の違いや
その程度を調べ、「手
に触れる表面積が大き
いほど軽く感じた」と
説明した。

県内の高校生が大学
で理系分野の教育を受
ける「知の探究講座」
の発表会が、名古屋市
昭和区の名古屋工業大
で開かれ、生徒たちが
独自の視点で調べた成
果を報告した。写真。
講座に応募した五十
七校の高校生百五十人
を、名古屋大や愛知教
育大など県内の六大学
に派遣。生徒は昨年夏
から年末にかけて計六
日間、各大学で講義を
受けたり、関心のある
テーマを研究したりし
た。発表会ではこのう
ち研究内容の評価が高
かった二十一人が登壇
し、生徒や大学教授ら
二百人が聞いた。

名古屋工業大で学ん
だ名古屋南高一年の山
田真子さんは、人は触
覚によって重さの感じ